

1-A. デジタル技術を用いた既存ビジネスの深化

企業名		法人番号		回答(担当)部署名	
-----	--	------	--	-----------	--

※顧客との関係の強化、新地域、新セグメントへの展開、商品・サービスの質改善等により、既存の事業ドメインを変えずに収益における成長を目指す取組や、業務そのものの自動化・不要化、働き方の変革等により、革新的な生産性の向上を目指す取組をお書きください。

◇取組プロジェクト等

--

※本取組が明記されている経営戦略の資料名/URL

--

◇取組内容

【概要】

※既存ビジネスモデルの強み・弱みとその強化・改善方法についてお書きください。また、他社と比較した強みをお書きください。

--

【プロジェクト体制(リーダー)、体制構築・チームが機能するために工夫を行ったポイント】 ※他組織との協創・協業体制も含まれます。

--

【デジタル技術を活用したポイント】

--

【デジタル化(当該プロジェクトに限る)がもたらすリスク認識とその対応方法】

--

◇プロジェクトの経営ビジョン・経営戦略上の位置づけ(背景・目的等)

※プロジェクトの現状の段階(PoC段階、スモールスタート段階、大規模投資実施段階等)もお書きください。

--

◇成果指標・成果

【プロジェクトそのもののKPIと目標値・達成状況】

--

【KPI以外の成果】 ※成果が無い場合は、成果の見込みをお書きください。

(対顧客、ステークホルダー、社会)

--

(対社内)

--

【上記KPI等が最終的に財務成果(KGI)へ帰着するストーリー】

--

【上記の実際の財務成果(自社の売上高・利益のどの程度を占めるか、占める予定の事業になるのか)】

--

【IT/デジタル戦略等によるESG/SDGsに関する取組・成果】

※SDGsについて記載する際は、取組ごとに該当するSDGsの17の目標のどれに該当するか、該当番号を記載してください。

(例)【SDGs:17】○○○○(取組名)

※ESG/SDGsの取組とDXがどのように関連しているかわかるようにご説明をお願いします。

--

1-B. デジタル技術を用いた業態変革・新規ビジネスモデルの創出

企業名		法人番号		回答(担当)部署名	
-----	--	------	--	-----------	--

※これまでになかった価値を創出したり、これまでに存在しなかった顧客・市場を創造することで、新たなビジネスモデルを実現したり、新たな事業分野へ進出する取組、それらの取組を実現させるための革新的な生産性向上の取組に限定してお書きください。

◇取組プロジェクト等

--

※本取組が明記されている経営戦略の資料名/URL

--

◇取組内容

【概要】 ※新しいビジネスモデル説明と、それを創出するための事業リスク・シナリオをお書きください
【当該プロジェクトが既存ビジネスの深化ではなく、業態変革・新規ビジネスモデルの創出と言えるポイント】
【プロジェクト体制（リーダー）、体制構築・チームが機能するために工夫を行ったポイント】 ※他組織との協創・協業体制も含みます
【デジタル技術を活用したポイント】
【デジタル化（当該プロジェクトに限る）がもたらすリスク認識とその対応方法】

◇プロジェクトの経営ビジョン・経営戦略上の位置づけ（背景・目的等）

※プロジェクトの現状の段階（PoC段階、スモールスタート段階、大規模投資実施段階等）もお書きください

--

◇成果指標・成果

【プロジェクトそのもののKPIと目標値・達成状況】
【KPI以外の成果】 ※成果が無い場合は、成果の見込みをお書きください (対顧客、ステークホルダー、社会)
(対社内)
【上記KPI等が最終的に財務成果（KGI）へ帰着するストーリー】
【上記の実際の財務成果（自社の売上高・利益のどの程度を占めるか、占める予定の事業になるのか）】
【IT/デジタル戦略等によるESG/SDGsに関する取組・成果】 ※SDGsについて記載する際は、取組ごとに該当するSDGsの17の目標のどれに該当するか、該当番号を記載してください。 (例) 【SDGs：17】○○○(取組名) ※ESG/SDGsの取組とDXがどのように関連しているかわかるようにご説明をお願いします。

2. DX実現能力

企業名	法人番号	回答(担当)部署名
-----	------	-----------

◇経営ビジョン名

【名称】	
【資料名、URL】	

◇経営ビジョンの内容

【概要】
【社会全体のデジタル化が自社の事業に及ぼす影響（機会と脅威）について描いているシナリオ】
【経営ビジョンのうち、デジタル技術の重要性・デジタル技術利活用の方向性】

◇経営戦略の内容

【名称】	
【資料名、URL】	
【経営ビジョンを実現するための具体的な方向性・ロードマップ】	
【IT/デジタル戦略・施策のポートフォリオにおける予算配分の考え方】	
【戦略を実現するためのデータの活用方法】 ※経営資源としてのデータの活用方法をお書きください。	

◇DXを実現するための組織、人材、企業文化づくり

※個別プロジェクトではなく、会社全体のことについてご記載ください

【組織】	※他組織との協創・協業体制も含みます。
【人材】	※必要な人材の定義、獲得方法、育成方法等についてご記載ください。 なお、育成するデジタル人材の人数や計画、レベル感については、詳細にご記入ください（□年までに○レベルの人材を△人育成、等）。
【企業文化】	※企業文化を醸成するための取組、仕組みやその結果として生じたこと等についてご記載ください。

◇DXを実現するためのITシステム等の構築・利活用

（技術の羅列ではなく、戦略の達成とITシステムの関係性を明記ください）

※個別プロジェクトではなく、会社全体のことについてご記載ください

【DXを実現するためのITシステム等の構築・利活用】
【上記のうち、特筆すべき技術やその活用方法】

◇DXの推進に対する経営トップ自らのメッセージ発信・コミットメントについてお書きください

【URL、媒体名】
【上記のメッセージの概要または抜粋】

◇経営戦略の進捗・成果を適時・継続的に確認するための工夫、軌道修正の方法

【進捗・成果を適時・継続的に把握する方法】
【上記を把握した上で、必要に応じて適時軌道修正を行うための方法】

◇デジタル化がもたらすリスク認識とその対応方法をお書きください。

【デジタル化（特定のプロジェクトではなく会社のデジタル化全般）がもたらすリスク認識とその対応方法】
※個別プロジェクトではなく、会社全体のことについてご記載ください

3. ステークホルダーへの開示

企業名		法人番号		回答(担当)部署名	
-----	--	------	--	-----------	--

◇投資家等のステークホルダーに対する情報発信

自社のDXの取組について、ステークホルダー（特に投資家）に対してどのような情報発信／定期的なコミュニケーションをとっていますか。情報発信等の内容や手法、アピールポイント（投資家に刺さるような工夫）等について、詳細にご記載ください。

--